



multibook 発注残の把握



はじめに

現状、購買発注伝票レベルで、未入庫、一部入庫済、入庫済、取消のステータスが把握できるのみで、一部入庫の場合、どの品目がいくつ未入庫なのか、詳細の数量把握（＝発注残管理）ができません。

今回、これを改善し、どの品目がいくつ未入庫なのか（発注残）、把握可能とします。

1. 実現概要

【実現ポイント】

- 現在保有している購買発注伝票レベルでのステータス管理機能は、そのまま維持（＝ステータスとしては、あくまで、伝票レベル）し、別途、購買発注伝票番号、品目毎の発注残（＝未入庫残）の把握を実現します。
- 発注残把握は、購買発注伝票番号、品目毎とし、納期は含めませんので、納期が異なる明細は、購買発注伝票をわけて登録する前提とします。
- 会社マスターに、発注残管理区分を追加し、発注残管理を利用する会社は、発注残管理区分を設定（0:管理しない 1:管理する＆入庫数量発注数量オーバーチェックはしない 2:管理する＆入庫数量発注数量オーバーチェックもする）します。
- 発注残管理にあたり、発注残テーブルを追加します。
 - ・ キー：会社、購買発注伝票番号、品目
 - ・ 項目：購買発注数量、入庫済数量
- 発注残テーブルへの移行のため、発注残テーブル一括更新（エクセルアップロード）機能を用意しますので、購買発注伝票照会より、未入庫、一部入庫の伝票をダウンロードし、加工のうえ、発注残テーブルに移行して下さい。

2. 各機能での変更点

【SLPU110 購買発注伝票登録、SLPU150 購買発注伝票Excel Upload】

- 伝票登録時、発注残テーブルに発注残管理レコードを追加します。

【SLPU120 購買発注伝票修正】

- すでに入庫がある伝票（いずれかの品目の入庫数量>0）について、ステータス：取消への変更不可とします。
- 入庫済数量より少ない数量への更新不可（品目毎にチェック）とします。
- 更新時、品目毎の発注数量再算出、発注残テーブルの発注数量を更新（発注数量0となった品目のレコードは削除します）します。

【SLMM110 入出庫伝票登録、SLMM150 入出庫伝票Excel Upload】

（購買発注伝票番号指定時のみ）

- 購買発注ステータスは、マニュアルで更新して頂きます（一部入庫の場合）。
- 発注残管理区分が2の場合、入庫数量（入庫済数量+画面入力値）>発注数量の場合はエラー（品目毎）とします（100個発注だが、おまけで110個入庫のケースを許可する場合、1を設定して下さい）。
- 登録時、品目毎の入庫数量を算出、発注残テーブルの入庫数量を更新します（データが存在しない場合は更新しません：未移行）。
- 会社マスターで発注残管理をオンにした場合、購買発注入庫時、購買発注伝票番号必須。

2. 各機能での変更点

【SLMM130入出庫伝票取消】

- 入庫伝票の各品目の入庫数量を、発注残テーブルの入庫数量よりマイナスします（データが存在しない場合は更新しません：未移行）。

【SLPU130 購買発注伝票照会】

- “発注残検索”ボタンを追加します。検索条件は同じですが、表示される項目は、購買発注伝票ヘッダ項目、品目、発注数量、入庫数量、納期（当該品目が設定されている明細：同じ品目が複数明細に設定されている場合、最も直近の納期）とします。

【SLPU160 発注残テーブル一括更新】

- 発注残数量の移行をエクセルアップロードで実現します（ダウンロードも可能、アップロード時無ければインサート、あれば入庫済数量の更新とする、購買発注数量は、会社、購買発注伝票、品目をキーに、自動取得&更新する、入庫済数量は入力された値で更新）。

【MACM110 会社】

- 発注残管理区分（0:管理しない 1:管理する&入庫数量発注数量オーバーチェックはしない 2:管理する&入庫数量発注数量オーバーチェックもする）を追加します。